

納付済証貼付欄



1000465
火薬類製造許可申請等手数料

左の QR コードを
POS レジで読み込
み、手数料支払い
後、発行される「納
付済証」を貼付し
てください。

煙火 7,900 円

× 整 理 番 号	
× 審 査 結 果	
× 受 理 日	年 月 日
× 許 可 番 号	

火薬類譲受・消費許可申請書

年 月 日

山 口 県 知 事 様

(代表者)氏名
(代理者)氏名
連絡先電話

氏 名 又 は 法 人 名						
事 務 所 所 在 地(電 話)						
職 業						
(代 表 者)住 所 氏 名						
火 薬 類 の 種 類 及 び 数 量	種 類					
	数 量					
	種 類					
	数 量					
目 的						
譲 受 期 間		自 年 月 日 至 年 月 日				
貯 蔵 又 は 保 管 場 所						
消 費 に 関 す る 事 項	日 時 又 は 期 間	自 年 月 日 時 至 年 月 日 時				
	場 所					
	危 険 予 防 の 方 法	別紙消費計画書のとおり				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 ×印の欄は、記載しないこと。

煙 火 消 費 計 画 書 (No.1)

消 費 の 方 法	日 時		年 月 日から 年 月 日まで					
			打 揚 予 定 日		打 揚 予 備 日			
	煙 火 品 名 及 び 数 量	打 揚	種 類	cm玉	cm玉	cm玉	cm玉	cm玉
			数 量	個	個	個	個	個
			発 射 薬	g	g	g	g	g
		仕 掛	名 称 台					
	打 揚 ・ 仕 掛 の 場 所		別添図面のとおり					
消 費 す る 煙 火 の 製 造 者 名		住 所 氏名又は法人名 代表者名(法人のみ)						
危 険 予 防 の 方 法	観 衆 人 員							
	消 火 ・ 防 火 措 置							
	危 険 区 域 の 設 定							
	警 戒 の 方 法							
	不 発 煙 火 等 の 回 収 措 置 等							
現 場 責 任 者 (火 薬 類 盗 難 防 止 措 置 指 揮 者)		氏 名		(生 年 月 日 ・ 年 月 日)				
		住 所		(連 絡 先 電 話 ・ ())				
現 場 責 任 者 (危 険 区 域 内 立 入 禁 止 措 置 指 揮 者)		氏 名		(生 年 月 日 ・ 年 月 日)				
		住 所		(連 絡 先 電 話 ・ ())				
消 費 作 業 に 従 事 す る 者		別紙名簿のとおり						

備考 この用紙は、日本産業規格A4とすること。

煙火消費計画書 (No.2)

危険	打揚火薬の入れ忘れ防止対策	右記対策のうち実施するものに○印 ① 速火線等のついた打揚火薬を煙火玉に取り付けて当該煙火玉の装てんと同時に打揚火薬が装てんできるようにする。 ② 打揚火薬を薬包に入れて速火線等を接続し、打揚筒に打揚火薬を装てんした後、速火線等を筒口から出して打揚火薬があることを明示する。 ③ 打揚火薬の装てんを2名以上で行い、装てん済みの筒と打揚火薬が入っていない筒とが標識等()により明瞭にわかるようにする。 ④ ないし③の方法に準じた、打揚火薬の装てん漏れを確実に防止する適切な装てん方法を用いる。 (具体的な方法を記載)																							
	予	消費しようとする煙火と同種のを安全に消費した実績の有無(いずれかに○印)				有 無																			
防火者の安全確保の方法	点火者の安全確保の方法	右表に記入	<table border="1"> <thead> <tr> <th>打揚場所</th> <th>打揚煙火玉の最大サイズ</th> <th>打揚筒と打揚作業従事者の離隔距離</th> <th>点火方法 (いずれかに○印)</th> <th>打揚筒の材質</th> <th>防護措置、安全対策 (使用するものに○印)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>cm</td> <td>m</td> <td> ・電気点火 ・導火線点火 ・直接点火 ・その他() </td> <td></td> <td> ・ポリカーボネート板 ()mm 厚×()枚 ・畳床()枚 ・鋼板()mm 厚 ・ヘルメット着用 ・その他() </td> </tr> <tr> <td></td> <td>cm</td> <td>m</td> <td> ・電気点火 ・導火線点火 ・直接点火 ・その他() </td> <td></td> <td> ・ポリカーボネート板 ()mm 厚×()枚 ・畳床()枚 ・鋼板()mm 厚 ・ヘルメット着用 ・その他() </td> </tr> </tbody> </table>					打揚場所	打揚煙火玉の最大サイズ	打揚筒と打揚作業従事者の離隔距離	点火方法 (いずれかに○印)	打揚筒の材質	防護措置、安全対策 (使用するものに○印)		cm	m	・電気点火 ・導火線点火 ・直接点火 ・その他()		・ポリカーボネート板 ()mm 厚×()枚 ・畳床()枚 ・鋼板()mm 厚 ・ヘルメット着用 ・その他()		cm	m	・電気点火 ・導火線点火 ・直接点火 ・その他()		・ポリカーボネート板 ()mm 厚×()枚 ・畳床()枚 ・鋼板()mm 厚 ・ヘルメット着用 ・その他()
			打揚場所	打揚煙火玉の最大サイズ	打揚筒と打揚作業従事者の離隔距離	点火方法 (いずれかに○印)	打揚筒の材質	防護措置、安全対策 (使用するものに○印)																	
				cm	m	・電気点火 ・導火線点火 ・直接点火 ・その他()		・ポリカーボネート板 ()mm 厚×()枚 ・畳床()枚 ・鋼板()mm 厚 ・ヘルメット着用 ・その他()																	
	cm	m	・電気点火 ・導火線点火 ・直接点火 ・その他()		・ポリカーボネート板 ()mm 厚×()枚 ・畳床()枚 ・鋼板()mm 厚 ・ヘルメット着用 ・その他()																				
※記入欄が足りない場合は、別紙を作成のこと。																									
方法	煙火玉の誘爆防止の方法	小雷、花雷、雷球その他引火しやすかつ破裂しやすい部品を煙火玉に加えて打揚筒内に仕込むことの有無(いずれかに○印)				有 無																			
		上記部品を打揚筒内に仕込むことが「有」の場合に、当該部品が仕込まれた打揚筒の中に火の粉が入らないようにする措置(実施する措置に○印)				① 筒口に筒蓋を取り付ける。 ② 筒口をアルミ箔で覆う。 ③ ①又は②に準じた措置をとる。 (措置の具体的内容－)																			

備考 この用紙は、日本産業規格A4とすること。

煙火消費作業従事者名簿

氏 名 ・ 生 年 月 日	打 揚 従 事 者 手 帳 番 号	所 属
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	
大・昭・平 年 月 日	第 号	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。